

日本史(6) 古墳時代②「東アジア諸国との交渉／大陸文化の受容」

○今回のポイント

東アジア諸国との交渉

(1)分裂期の中国

- ・ 従来 …統一王朝が周辺諸民族に対して支配力を持つ。
- ・ 4 世紀…三国時代を経て統一政権の晋が[1. _____] (匈奴・鮮卑・羯・氐・羌) の侵入を受け、南北分裂の[2. _____]を迎える。
→ 中国の支配力が弱まり、東アジアの諸地域は次々と国家形成を進める。

(2)朝鮮半島情勢

①4 世紀における新興国

(a)北部

- ・ [3. _____]…前 1 世紀に建国。4 世紀初め[4. _____]を滅ぼし朝鮮半島北部を領有。

(b)南部

- ・ 馬韓 → [5. _____]…345 年頃、馬韓 50 余国を統一して百済が建国される。日本と親交を持つ。
- ・ 辰韓 → [6. _____]…356 年に辰韓 12 国を統一して新羅が建国される。後に百済・高句麗を滅ぼす。
- ・ 弁韓 → [7. _____]諸国…統一勢力が現れず小国家連合状態。鉄の有力な生産地。倭国(ヤマト政権)と密接な関係にあり『日本書紀』では「任那」と呼ばれ日本府が置かれていたとされる。

②[8. _____]の碑文

- ・ 高句麗の都であった[9. _____](中国吉林省集安市)にある好太王(広開土王)の事績を記した石碑。
- ・ [10. _____]年倭国軍が朝鮮に進出。北上し高句麗と交戦。好太王によって撃破されたと記されている。
- ・ 高句麗との戦いの中から倭国は[11. _____]の風習や騎馬の技術を学んだ。
→5 世紀になると日本列島の古墳にも馬具が副葬されるようになる。
※倭国は百済や加耶から技術を学び[12. _____]がやってきて多様な技術や文化を日本に伝えた。
※[13. _____]…古墳前期と中期の文化的断層を軍事的性格に求め、大陸北方の騎馬民族の征服の結果と考える説。

(3)倭の五王

①『宋書』倭国伝

- ・ 5 世紀に倭の大王たち (14. _____) が南朝の宋に朝貢する記事が登場する。
・ 五王のうち済は允恭天皇、興は安康天皇、武は雄略天皇であることがほぼ確定している。

②倭の王たちの目的

- ・ [15. _____]
→宋の皇帝に朝貢して冊封されると、他の勢力に対して支配権を正統化できる

大陸文化の受容

(1)新技術…進んだ鉄器・[16. _____]、機織り・金属工芸・土木など

(2)渡来人たち

渡来人	時代	本国	業績	始祖
17.	応神朝	百済	『18. _____』『千字文』(識字・習字のテキスト)	西文氏の祖
19.	応神朝	?	文書記録を担当する[20. _____]を管理した	東漢氏の祖
21.	応神朝	百済	[22. _____]を伝えた	秦氏の祖

(3)ヤマト政権における渡来系技術者集団

23.	からかぬちべ	鍛冶・銅工・金作などに従事した渡来系の技術者集団。
24.	すえつくりべ	陶器を製造した渡来系の技術者集団。
25.	にしごりべ	錦を織ることを職とした渡来系の技術者集団。
26.	くらつくりべ	鞍などの馬具を作ることを職業とした渡来系の技術者集団。

(4)漢字の使用

①埼玉県[27. _____]出土、稲荷山鉄剣の銘文
⇒漢字の音を借りて日本人の名や地名などを書きあらわす。
例) 獲加多支鹵 = [28. _____]

②[29. _____](ふひとべ)
・漢字を用いてヤマト政権のさまざまな記録や出納、外交文書などの作成にあたった渡来人の技術者集団



ワカタケルという人名を漢字の音を借りて「獲加多支鹵」と書きあらわしている

(5)儒教・仏教の伝来と歴史書

- ①[30. _____]…儒教を伝える。五経とは儒教の基本的な経典である詩経・書経・易経・春秋・礼記を修める学者のこと。段楊爾(だんように)の渡来から始まる。
- ②[31. _____]などの学術も伝来
- ③仏教伝来…百済の聖(明)王が欽明天皇の時に仏像・経論を伝えたとされる。
- ・ [32. _____]年説…『上宮聖徳法王帝説』『元興寺縁起』などの説。
 - 『33. _____』: 聖徳太子の伝記
 - 『34. _____』: 元興寺の起源と財産目録を記したもの。
 - ・ [35. _____]年説…『日本書紀』などの説。
- ④歴史書…『古事記』、『日本書紀』のもとになった『帝紀』と『旧辞』がまとめられ始めたとされる。
- ・ 『36. _____』: 大王の系譜を中心とする伝承
 - ・ 『37. _____』: 朝廷の伝承、説話